

4.【事例3】システム開発：C社

30年近く改修をしていない汎用機システムの大規模なオープン化プロジェクトに参画。

まず、大規模プロジェクトで実績のあるコンサルタントを配置。お客様のPLの下、要件の取りまとめを担当し、プロジェクトの全体像を把握。同時に汎用機プログラムの解析結果をドキュメント化。

次にプロジェクトが遅延しているため、その問題点を調査し、フェーズ毎に適切な技術者を工数に見合った人数配置。

汎用機システムの保守・オペレーション業務についてもお客様担当者から引き継ぐ。

結果、お客様担当者が本来のプロジェクトのコア業務に注力。

設計⇔作業⇔各部門/下請けとの調整で混乱し、TCOが問題化していたプロジェクトが安定化。

